

道徳便り



金沢錦丘中学校
平成30年4月26日(木)



育てよう豊かな「心」

道徳の時間が始まりました

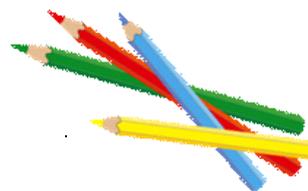
週に1回、みなさんは道徳を学んでいます。その『道徳の時間』では、どのようなことを学ぶのでしょうか？道徳の時間は、「ケンカをしないで仲良くしましょう。」「ルールを守りましょう。」といった「行い」を正すための時間ではありません。道徳の時間は、「どうして、約束をやぶってしまうんだろう。」「つい、ごまかしてしまうのはこんな気持ちだったからか・・・。」とわかっているのにできない人間の心について感じたり考えたりします。

私たちの前には、未来という「道」があります。それは、まっすぐの一本道かもしれない、曲がりくねっている道かもしれない、急な坂道かもしれない・・・その道をどう歩んでいくのか、よりよい生き方とはどんなものかを「道徳の時間」を通して、見つめていきましょう。

耕そう自分の「心」～日々の道徳の授業から～

1年「美しく自分を染めあげて下さい」の授業

◆資料について・・・ 中学校最初の道徳の資料はサトウ ハチローさんの詩です。夢や理想を追い求めながら、自分を美しく染め上げていこうというメッセージは、はじめて制服に袖を通した生徒達にすがすがしく響くでしょう。これから歩む道は自分自身で染めていくということを考えながら、そのために大切にしたい心考えた時間となりました。



◇生徒の感想より

- *今日の道徳では、挑戦したり、自分で行動し、自分で心を美しく染め上げていくことが大切だとわかりました。私はこれまで人に任せてしまうこともありました。自分で行動することが大変だからです。けれどこれからは、人に任せるだけでなく、自分から行動し、ときにはみんなを手助けすることを頑張りたいと思いました。今回学んだことを意識し、自分の目指す色に自分を染め上げていこうと思いました。
- *今日の道徳で私は、努力し続けられる大きな心を持った強い人になりたいと思いました。だから、自分がどうしていかなければいけないのか関心を持ち、探していきたいと思えることができました。そして、「心で見なければ本当のことは見られない」という言葉に自分と向き合う必要を感じ、高めることの伸びしろを感じました。最後に、強いから優しくできることもたくさんあるのだと感じました。

2年「不思議」の授業



◆資料について…人気漫画家の折原みとさんの詩です。長い長い人類の歴史の中で、同じ時代に生まれ、同じ場所に居合わせ出会う私たち。それは、どれほどの偶然が重なったものでしょうか。まさに「不思議」としか言えません。私たちが毎日を過ごす中で、あまり考えることのない教室の友だちや家族という「あたりまえ」の存在について話し合いました。

◇生徒の感想より

*この「不思議」という詩は短い詩だったけれど、今まで当たり前だと思っていたことを改めて考えると、とても不思議なことがたくさんありました。もし、錦丘中学を受験しようとしていた時に、少しでも気持ちが違えば行動も変わっていて今このクラスにいなかったかもしれないので、今2年B組にいること自体がとても不思議であると感じました。

*折原さんの「とても、不思議に、トクベツに見えた」という所から、この私が今生きていることは不思議なことであるとあらためて思いました。また、それはあたりまえのことではなく、トクベツなことであることに気づくことができました。全てはあたりまえではないので、一つ一つを大切に、そして感謝することをいつも忘れずにいたいと思います。今回の授業での交流でいろいろな考え方、感じ方がわかりました。

3年「道はいつもひらかれている」の授業

◆資料について…古谷綱武さんの詩です。3年生のスタートにふさわしく、将来に向かって自分はどうのように歩を進めるべきかを深く考えることのできる資料です。「道はいつもひらかれている」。しかし、それには条件がある、と古谷さんは伝えています。この詩を通して、自分自身のふさわしい生き方についてじっくり考えました。



◇生徒の感想より

*私は良いことを良いと言い、ダメなことをダメと言える、誠実で自分に正直な道を歩んでいきたい。今までのはつい人に流されがちで、それを「自分の人生」と言いきれる自信はない。だから、「私の人生」にするために、もっと素直で正直な人間になることで、他人にとらわれない「自分の人生」を築くことができると私は思う。そのために、良いことと悪いことの判断をしっかりとしたいと思う。

*人によって心に響く部分が違い、理由も様々で、とても興味深く、そのフレーズで、その人のおおまかな人柄があらわれるように思いました。このように、自分以外の考えを聞くとどれも自分にとっては大切なことのように感じます。これから、色々な観点から自分や他の誰かへのアドバイスができるようになりたいです。また、客観性を持ち、今までの自分では気づけなかったことに気づけるようになりたいです。

保護者の皆様へ

今、生徒たちを取り巻く生活環境は、メディアの様々な報道、携帯電話やスマートフォンの開発・普及等、保護者の方の子ども時代には想像できなかったことが現実となっています。それにつれて、人との関わり方やものの考え方も少しずつ変化しているように感じます。次代を担う子どもたちの健全な成長を、家庭・地域・学校が力を合わせて「共育」することが大切です。

この「道徳便り」は、子どもたちが何を考えているのか、学校が子どもたちの心をどう育てているのかを、「道徳の授業での様子」を中心にお知らせしたいと思います。是非、お読みいただき、感想やご意見等がありましたらお寄せいただきたくお願いいたします。